

静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2010年4月5日

「平成22年1～3月期中小企業景気動向調査」調査結果報告

－3 四半期連続で改善。前期の予想値から大幅な上方修正－

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「平成22年1～3月期中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご案内します。詳細は別添資料をご覧ください。

1. 調査概要（調査 静岡県西部地域しんきん経済研究所 協力 浜松商工会議所）

調査対象 静岡県西部地域の中小企業 636 社

調査方法 調査表による面接聴取法（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

調査時期 平成22年3月1～5日

回収状況 回収数 619 社（回収率 97.3%）

2. 「中小企業景気動向調査」の調査結果

① 平成22年1～3月の業況について

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－56.2 となった。平成22年12月の前回調査（－68.6）から12.4 点改善。3 四半期連続で改善となった。前期の3 月予想値（－69.7）から大幅な上方修正となった。

② 平成22年4～6月期の見通しについて

4～6 月期にかけて、業況 DI は 2.8 点悪化の－59.0 となる。売上額 DI も 9.2 点悪化し－30.0 となる。回復傾向にあった製造業の落ち込みが予想される。景気回復に確信が持てない状況が続く。

③ 主な業種別の動向

業種	業況 DI (前期→当期)	動向
二輪部品製造 (56 社)	－87.7→－64.3	業況 DI は 20 点以上改善。水準は低いが、受注増加基調。
自動車部品製造 (69 社)	－63.8→－34.8	業況 DI は、リーマンショック直前の水準まで回復。人手の過剰感も和らいできている。
機械部品製造 (65 社)	－80.0→－67.7	業況 DI は 3 四半期連続で改善。低水準ながら前期の 3 月予想値（－86.2）から大幅に上方修正
楽器部品製造 (19 社)	－88.9→－84.2	業況 DI は改善したが、－84.2 と極めて低い水準。全業種中、最も悪い。
繊維製造 (27 社)	－65.4→－81.5	業況 DI は悪化。景気回復基調から取り残されている。
卸売業 (88 社)	－74.7→－56.8	業況 DI は 17.9 点改善の－56.8。依然低水準だが、リーマンショック以降最も良い水準。
小売業 (69 社)	－52.9→－43.5	業況 DI は 6 四半期振りに改善。経済対策の恩恵のある家電、自動車販売の改善が目立つ。
建設業 (74 社)	－61.6→－53.4	業況 DI は 3 四半期連続で改善。来期は悪化見込みだが、1 年前（平成 21 年 6 月）と比べると良好。
不動産業 (37 社)	－59.5→－56.8	業況 DI は 2 四半期連続で改善したが、不動産の動きは鈍い。
飲食・宿泊・レジャー等 (17 社)	－46.7→－62.5	モザイクカルチャー特需の反動で宿泊業が落ち込んだ。来期は大幅改善の見込み。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場 2-7-1 浜松商工会議所会館 9 階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 間淵 TEL 053-452-1510